

華風到来 チャイニーズアートセレクション

2022年4月16日(土)―6月5日(日)

大阪市立美術館は1936年5月1日、日本で三番目の公立美術館として開館しました。86年の歴史を経た建物を改修して新たな100年を歩みだすために、2022年秋から約3年間の大規模工事を開始する予定です。長期の休館を前に、館藏品による当館ならではの特別展を開催いたします。

当館は開館以来8500件を超える作品を集めてきました。制作地やジャンルは多岐にわたりますが、なかでも中国と関連深い作品を多く所蔵することが特色です。その筆頭に、阿部房次郎(1868-1937)が収集した中国書画、山口謙四郎(1886-1957)

による中国の石造彫刻・工芸などの、関西経済人によるコレクションを挙げるすることができます。このほか、工芸・仏画・近世及び近代絵画といった日本美術にも、中国との関わりを示す多彩な作品が揃います。

本展は、当館の展示の柱である中国美術とその影響を受けた「華風=中国風」の日本美術を選りすぐって、中国文化の魅力と広がりをご紹介します。

海を越えてやってきた爽やかな華風を感じに、ぜひご来館ください。

(八田真理子)



1



3



2



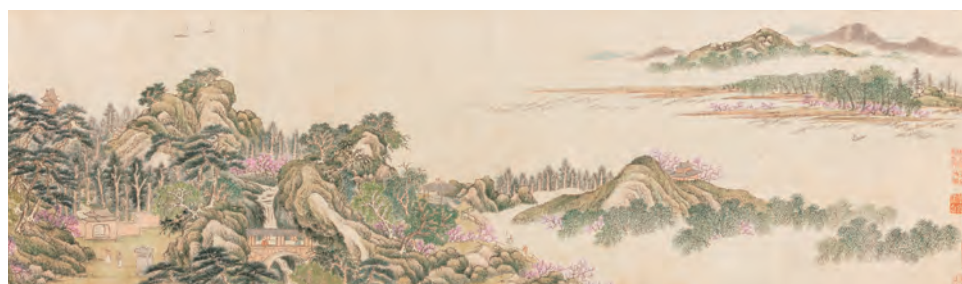
4



7



5



6

- 1 《吳王伍子胥画像鏡》 後漢-三国時代・3世紀
山口コレクション
 - 2 《堆朱雲龍文層盒》 清時代・18-19世紀
カジュアルコレクション
 - 3 《豆彩蓮華吉祥文杯》 清時代・雍正期(1723-1735)
 - 4 王武《花卉冊》 康熙15年(1676)
 - 5 重要文化財 董其昌《盤谷序書畫合璧》(部分)
明時代・17世紀 阿部コレクション
 - 6 吳歷(款)《江南春色圖》(部分) 清時代・18-19世紀
阿部コレクション
 - 7 椿椿山《湖石牡丹図》 嘉永3年(1850)
- いずれも本館蔵 会期中、一部展示替えがあります。